

# 申請作業のデジタル化で、 交付業務を効率化

## ホゥ・トストルプ市 自治体

市民サービスセンターと提携する写真店にワコムの  
サインタブレットSTU-520を設置。パスポート・運転免許証の  
申請をデジタル化することにより、交付業務の効率化を実現しました。



### 課題 1

パスポート・運転免許証の  
交付業務を  
効率化したい

### 課題 2

デジタル化で  
公的書類の申請を  
簡略化したい

## STU-520

### 導入効果

電子サインシステムの導入により、パスポート・運転免許証の交付業務が軽減  
公的書類の申請をデジタル化することで、市民の申請手続きがスムーズに  
生体認証システムの活用で、自治体の情報セキュリティを高度化

### ホゥ・トストルプ市 自治体

ホゥ・トストルプ市はコペンハーゲンの西、約20kmに位置する人口約5万人の都市です。  
総面積は78平方kmで、駅がある3つの町と14の村で構成されており、自治体は市長と21名の市議会で  
統治されています。

参照: ホゥ・トストルプ市サイト  
<http://www.htk.dk/Service/English.aspx>

# 1 年間10,000件を超える、パスポート・運転免許証の交付業務を効率化

デンマークのコペンハーゲン近郊(コペンハーゲン中央駅から電車で20分)にあるホゥ・トストルブ市。同市の市民サービスセンターでは、年間10,000件を超えるパスポート・運転免許証の交付業務の効率化を図ることが課題となっていました。そこで、市民サービスセンターと提携する写真店にワコムのサインタブレットSTU-520を導入。申請に必要

となる写真データの確認と書類へのサインをデジタル化することで、交付業務の効率化を果たすことができました。同時に、申請書類のペーパーレス化を促進することで印刷コストや書類の保管業務の削減も実現しています。

# 2 申請書類のデジタル化により、市民の申請手続を簡略化

サインタブレットSTU-520の特長は、コンパクトな構造とフルカラー液晶ディスプレイにあります。市民サービスセンターでは、以前は枚数が多く分かりにくかった申請書類をデジタル化し、STU-520に必要な情報を表示しながら画面上に電子サインをすることで申請を簡略化。ネットワークを通して、提携写真店で撮影した証明写真を市民サー

ビスセンターへ直接送信することもできるようになりました。馴染みの写真店で証明写真を撮影できるため、パスポートや運転免許証にお気に入りの写真を使うことができます。利用する市民からも、パスポート・運転免許証の申請書類や証明写真を持ち歩く必要がなくなり、手続きが簡単になったと高評価を得ています。

# 3 生体認証システムと組み合わせた高度なセキュリティ

重要な個人情報扱う市民サービスセンターでは、セキュリティ対策も導入の条件でした。ホゥ・トストルブ市ではScanTech IT社が開発した生体認証システムとSTU-520を組み合わせて利用すること

で、情報流出や不正な申請を未然に防ぐことができる点も大きなメリットです。市民サービスセンター長 Peer Anker Hansen氏は、サインタブレット導入の有意性について次のように語っています。「STU-520



を使えば、申請に必要な全情報をコンパクトに表示できます。市民の皆さんは書類の申請業務の安全性を認識し、デジタル処理をすぐに受け入れてくれました。非常に素晴らしいソリューションです」。

● この製品に関するお問合せ・資料請求はこちらから

TEL: 03-5337-6706 E-mail: [vm-info@wacom.co.jp](mailto:vm-info@wacom.co.jp)

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日を除く)

株式会社ワコム 〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 31階  
本事例の記載は、2016年8月現在のものです。©2016 Wacom Co., Ltd. All right reserved 201601



BUSINESS  
SOLUTIONS